

事業報告①

復興公営住宅の課題解決の “ヒント”を持ち帰るミーティングを開催

10月20日(木)仙台市若林区中央市民センターで、若林区内の復興公営住宅の自治会役員の方たちに集まって頂き、自治会運営の悩み相談や意見交換を行う「若林区復興公営住宅自治会リーダーミーティング」を若林区社会福祉協議会と当センターの共催で開催しました。

若林西・六丁の目西町・荒井第2・中倉の4つの復興公営住宅の自治会役員が参加し、イベントへの住民参加が少ないことや住民同士の騒音やマナー等のトラブル、イベントや資材購入のための助成金・補助金等の活用の仕方などについてじっくり話し合いました。

悩みを打ち明けた方に対し、他の自治会の方から解決方法やNGアクション

についてのアドバイスが返ってきました。各人の発言時間が比較的多く取れたのでみなさん納得してお帰り頂いたようです。

また別の方からは今回のミーティングに参加して自治会活動に勇気づけられたとか、自治会活動に楽しみが沸いてきたといった声も頂き、自治会リーダー同士のつながりの大切さを改めて確認出来ました。

このような自治会リーダーの交流会は今後も各地で企画していきたいと考えています。ご興味のある方は当センターまでお問合せ下さい。(本企画は宮城県地域コミュニティ再生支援事業の一環で開催しました)

【佐藤研】



若い世代の役員から年配の役員へ質問が多く投げかけられました



初めて知り合った役員同士の新しいネットワークが出来ました



雄勝ローズファクトリーガーデンでボランティア活動を行いました



フューチャーセッションで「ICTを活用して何ができるか」を検討しました

事業報告②

企業新入社員研修「復興未来プログラム」を実施

9月から10月にかけて、神奈川県の子会社である富士通エフサス株式会社の新入社員合計108名の研修を3回にわたって、石巻市中心部、石巻市雄勝地区、女川町にて、それぞれ2泊3日で実施いたしました。

富士通エフサス様では、2012年から被災地での新入社員研修を開催しており、本年度で4回目の実施となります。昨年度までは、「復興支援プログラム」としておりましたが、今年は「復興支援プログラム」から「復興未来プログラム」と名称を変更し、復興からその先の未来につながる取り組みについても学ぶ機会としております。

各地で様々な団体にご協力を頂き、

震災当時の状況や、まちづくりの現状について御講話を頂いたり、ボランティア作業を実施し、地域の現状を学びました。最終日には「会社として何ができるか」をテーマにフューチャーセッションを行い、まちの情報発信を行うアプリ開発等、ICT企業としてのスキル・リソースを活かしたアイデアを出し合いました。

プログラムを通じて新入社員の方々からは、災害時に自身の命を守ることの大切さや、実際に現場を見ることの大切さ、震災を乗り越えて未来に向かって進もうとしている方々の力強さを感じたとの声が聞かれました。

【堀内恭子】

	1日目/石巻市街地および近郊	2日目/石巻雄勝地区および女川町	3日目/女川町
A M	—	・石巻市雄勝地区の現状講話 (雄勝地区を考える会様) ・防災教育(雄勝花物語様)	・水産業体験 (復興まちづくり女川合同会社様) ・女川町の取組 講話(女川町役場職員様)
P M	・津波伝承ARを用いたまちあるき (みらいサポート石巻様) ・被災現場見学(石巻観光協会様)	・ボランティア作業(雄勝花物語様)	・フューチャーセッション (アスヘノキボウ様)
夜	・女川町とアスヘノキボウの取組講話 (アスヘノキボウ様)	・女川ビジネス部門講話 (アイローカル様)	—

地域の取組紹介

小規模多機能自治の 推進を目指して

「おらほの自治を考える会」は、宮城県内での小規模多機能自治の普及・推進を目的に2016年9月に発足し活動しています。

メンバーは当センター職員をはじめ、中間支援NPO職員、地域団体職員、企業社員などセクターを越えて小規模多機能自治に今後の自治の可能性を感じている有志で構成されています。

「小規模多機能自治」とは概ね小学校区などの範囲において地域課題に応じた住民福祉の取り組みを、その地域にいる個人・団体により構成された地域共同体によって実行していくことで、全国的には島根県雲南市や兵庫県朝来市の取り組みが知られています。

本会では小規模多機能自治の提唱者でもあるI.I.H.O.E(人と組織と地球のための国際研究所)の川北秀人氏を講師として仙台で開催した勉強会を皮切りに、今後も宮城県内に小規模多機能自治を広めていく取り組みを予定しています。

今後の勉強会などの情報などについては当センターWEBサイトやFACEBOOK OKページなどでも発信していきます。
【中沢峻】



仙台の勉強会は、県内各地から70名の参加を得て開催しました

お知らせ①

ミーティングファシリテーション 研修を開催します

6月16日・17日の二日間、青木将幸氏を講師にお迎えし、南三陸・石巻にて、地域の持つ力を引き出し、活動に取り組み、ファシリテーターの力を高める「ミーティング・ファシリテーション研修1」を開催しました。

参加者が思う「良い会議」を共有し、会議における段階「共有→拡散→混沌→収束」を踏まえ、参加者からの議題に取り組み、会場全体で学びをつくる一日となりました。

11月14日南三陸ポータルセンター、15日石巻市遊楽館にて「ミーティング・ファシリテーション研修2」を開催します。2からの参加もできますので、ぜひご参加下さい。
【西館和哉】

お知らせ②

みやぎ地域復興ミーティング 「コミュニティ再生の姿とその担い手たち」 を開催します

東日本大震災から5年余りが経過し、宮城県内の各地域で、自治会・まちづくり協議会・各支援団体が相互に連携をとり、助成制度などを活用しながら、コミュニティの再生を支える取組が徐々に進められています。

11月11日に東松島市コミュニティセンターにて開催する本ミーティングでは、それらの取組を共有し、コミュニティ再生に向けたヒントを学びます。

どなたでもご参加頂けます。お申込みは当センターのウェブサイト、お電話かメールにてご連絡ください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。
【高橋若菜】

「開催概要」

日時：2016年11月14日(月) @南三陸
2016年11月15日(火) @石巻
両会場とも13:00~17:30

会場：南三陸会場：南三陸ポータルセンター
石巻会場：こもれびの降る丘遊楽館
参加費：無料(事前申込制・各会場定員30名)
講師：青木将幸氏(青木将幸ファシリテーター事務所代表)
主催：宮城県 震災復興・企画部 地域復興支援課
企画運営：一般社団法人みやぎ連携復興センター

「お申込み方法」

みやぎ連携復興センターウェブサイトより詳細情報をご覧いただき、「参加申込書」に必要事項を明記の上、FAXまたはEメールでお申し込みください。



「開催概要」

日時：2016年11月11日(金) 13:30~16:30
会場：東松島市コミュニティセンター
参加費：無料(定員100名)
登壇者：

- ・丹澤千草氏(鹿折まちづくり協議会)
 - ・飯塚正広氏(つながりデザインセンター・あすと長町)
 - ・河合節二氏(野田北ふるさとネット・野田北部まちづくり協議会)
 - ・本多史朗氏(トヨタ財団)
- コーディネーター：宮本愛氏(都市住宅とまちづくり研究会)
主催：宮城県 震災復興・企画部 地域復興支援課
企画運営：一般社団法人みやぎ連携復興センター

「お申込み方法」

みやぎ連携復興センターウェブサイトより詳細情報をご覧いただき、必要事項を明記の上、FAXまたはEメールでお申し込みください。



職員紹介③

千葉富士男 常務理事 兼 事務局長



平成28年7月に主催した「ぶら宮町」。プラタモリで仙台の四ツ谷用水を案内した東京スリパチ学会会長の皆川典久さんと共に案内をする様子(写真中央の白シャツ姿が千葉)

出身地は？
宮城県仙台市です。

担当している業務は？
経営の全般、渉外その他、一部コ

ディネーター業務を担当しています。

特技や自慢できることは？
「

仙台東照宮の門前町、宮町にて、地域情報誌の編集長をしています。そのかたわら、人材育成、更生保護、関連など、地域にとどまらず活動し、商店街関係者や学校、行政や企業の方々と、セクターを超えた多くの皆様との繋がりを得て、連携しつつ、地域のまちづくり活動に活かせる仕組みを育てています。

その他PRがあれば

皆様がお持ちになつていらっしゃる古い言葉や写真、資料のご提供を戴ければ幸いです。それらの資料をもとに、歴史の検証と考証に役立て、「今」を書き加え、次代へ繋げて行きたいと考えています。